

2023-12-15 現在

大会運営ガイドブック 2023

～よくわかる大会運営～



公益財団法人 全日本柔道連盟

大会事業委員会

はじめに

全日本柔道連盟大会事業委員会では、従来の「大会運営規程」をわかりやすくスリム化し、重要なポイントを取り上げた「大会運営ガイドブック」を作成し、統一した大会運営ができるよう進めて参りました。

また、今年度におきましても各種大会に委員を派遣し、大会運営関係者が最新版の「大会運営ガイドブック2023」に則った運営ができるように指導・助言を行い、大会を成功させるとともに国内における大会運営手順の統一化に向けて鋭意活動して参りました。

昨年5月までの約3年間の大会運営は、新型コロナウイルスとの戦いでもありました。新型コロナウイルス感染拡大中の大会など中止や延期を余儀なくされた大会もあり、その代表的な例で言いますと2020年に開催する予定の東京オリンピックパラリンピックは、中止にはなりませんでしたが、1年延期し2021年に開催される大会となりました。しかし、延期して開催された本大会でも新型コロナウイルスは終息することはなく、結果無観客での開催となり、大会期間中の大会会場内での選手導線は一方通行と制限され、また手指の消毒を始め畳の上の消毒も徹底すると言った、これまでにない、ある種異様な大会運営となりました。合わせて、選手を含む大会関係者から感染者を出さない、入れないを合言葉に緊張感のあるオリンピック8日間とパラリンピック4日間となりましたが、関係者一同、規律ある行動をとった事で、一人の感染者も出すことなく、無事大会を終える事が出来ました。

現在では、その新型コロナウイルスも5類となり、以前の様に観客の声援のある中、大会も開催されるようになりましたが、大会毎に様々な出来事があり予期せぬことも起きるのが大会運営でもある事からも、その拠り所として、この度の「大会運営ガイドブック2023」を活用し、常に最善且つスムーズな大会運営に取り組んで参りたいと考えています。併せて「大会係員競技資料作成のためのガイドライン」も作成いたしましたので、本ガイドブックとともに大会運営の一助としていただければ幸いです。

全日本柔道連盟 大会事業委員会委員長
岡 泉 茂

目次

1. 大会運営の理念	1
2. 大会運営に必要な用具・試合場・階級などの決まり	1 - 7
2 - 1 畳	1
2 - 2 柔道衣	2 - 3
2 - 3 試合場	3
2 - 4 開始線と選手の位置	4
2 - 5 その他必要な備品	4 - 5
2 - 6 階級	6
2 - 7 計量についての決まり	7
2 - 8 試合時間	7
2 - 9 試合のシステム《敗者復活戦》	7
3. 試合運営の流れ	8 - 30
3 - 1 試合前の事前準備・準備会議等	8 - 29
3 - 1 - 1 柔道競技団体（大会準備委員会・事務局）	8
3 - 1 - 2 競技役員の決定と委嘱	9 - 12
3 - 1 - 3 競技役員の業務内容	13 - 26
・総務部	13
・競技進行本部	14
・試合場統括係	15 - 17

・記録係	18 - 19
・時計係	20
・掲示係	20
・連絡係	21
・選手係	21
・会場警備係	21
・救護係	21
・放送係	22
・渉外係	22
・式典係	23
・審判係	23
・練習会場係	24
・抽選係	24
・計量係	25 - 26
3 - 1 - 4 試合場・試合用具に関する準備	27 - 29
3 - 2 リハーサル	30
4. 試合を終えて	31

1. 大会運営の理念

大会参加選手すべての試合における公平性を担保することを目的とし、スムーズで適切な大会の運営に寄与することが大会運営にとって肝要である。そのために基礎となる規程は、

- ※IJF (SOR) 試合運営規程 ※IJF (SOR) 試合運営規程とは、国際柔道連盟が定めた「IJF スポーツ運営規程」(IJF Sports & Organization Rules) の略
- 全日本柔道連盟試合運営規程
- IJF 柔道試合審判規程
- 講道館柔道試合審判規定

などであるが、国内の大会においては、試合の状況や規模に応じて、安全で円滑、現実的な試合運営が期待される。

2. 大会運営に必要な用具・試合場・階級などの決まり

2-1 畳

規格：講道館柔道試合審判規定による 182×91cm が標準
国際基準の 200×100cm、またそれぞれの半畳も認める。
厚さについては、6 cm 又は 5 cm

* 公益財団法人全日本柔道連盟公認用具（柔道畳）取扱内規一部抜粋

（公認畳の国内柔道競技会での使用）

第1条 全柔連が主催・主管する柔道競技会においては、その試合場に必ず公認畳を使用しなければならない。

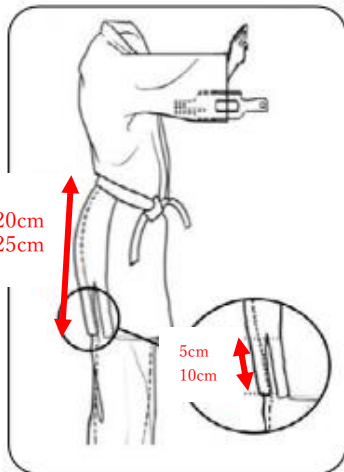
2 地区柔道連盟（協会・連合会）が主催する柔道競技会においては、原則として、その試合場に公認畳を使用すること。



2-2 柔道衣

下記規程に満たない場合、試合する権利がなくなり、試合がまだ始まっていなかった場合には「不戦勝ち」が、試合がすでに始まっていた場合には「棄権勝ち」が相手に与えられる。

上衣（うわぎ）



上衣は、前後が同等の長さで、完全に臀部を覆っていなければならない。

また、後部の長さが階級に応じて以下の通りでなくてはならない。

階級「-48・-52・-57・-63・-70・-60・-66・-73kg 級」

→ 20cm 以上の長さが必要

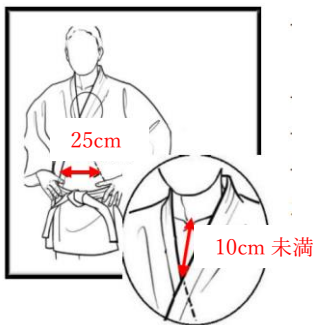
階級「-78・+78・-81・-90・-100・+100kg 級」

→ 25cm 以上の長さが必要

袖の長さ（コントロールの際、腕は真っ直ぐ伸ばして掌で三角形を作る）

-測定器全体がスムーズに袖の中にすべり入らなければならない。

-腕を上げ、柔道衣コントロールの姿勢になった時に、上衣の袖は手首の骨（尺骨の頭）を含めた腕全体を覆わなくてはならない。



上衣を前で重ねた際、2つの下襟の距離は水平に少なくとも 25 cm 必要である。

襟の厚さは 1 cm かそれ以下であること。

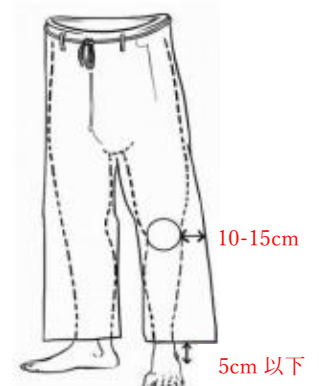
襟の幅は 4 cm であること。

胸骨の一番上から、上衣の重なり合っている所の距離は垂直で 10 cm 未満でなくてはならない。

下穿き（したばき）

下穿きの裾口からくるぶしの外側（足首）までの距離は 5 cm かそれ以下であること。

下穿きの幅は、膝の位置で、10 cm～15 cm であること。



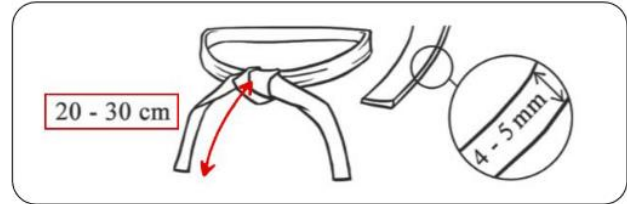
帯（おび）

帯の厚さは 4 mm～5 mm であること。

中央の結び目から帯の端までの長さは、20 cm～30 cm であること。

帯は正しく、且つきつく結ばなければならない。

帯は、硬く滑りやすい素材であってはならない。



Tシャツ（女性用）

色は白（透けない）、半そで、丸首

製造業者マークは、最大 30cm² のサイズであれば認められる。

柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

※所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定して付けることは認められる。

大きさは最大 100 cm² とする。

いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

その他

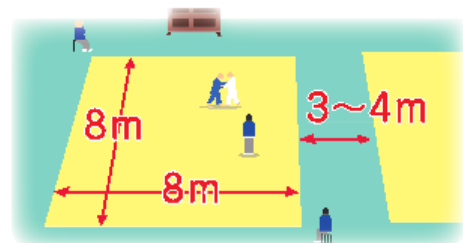
全柔連主催の指定大会においては、認証柔道衣等の着用と、氏名等の表示方法が規則として定められている。全柔連主催の指定大会以外については、主催者において判断する。

2-3 試合場

* 試合場については、最少で 14m × 14m であることが推奨される。

* 試合場については、次の図のように試合場内と場外に、2色の畳（IJF が推奨する色）によって区別される。但し、IJF 主催のオリンピック、世界選手権、世界マスターズ、各大陸の選手権大会など（これらの大会では、試合場内 10m × 10m、場外安全地帯 4 m）以外では、危険地帯に赤畳を使用することも可能とされている。従って、原則として国内で開催される大会では従来通り危険地帯に赤畳を使用することは問題ない。

* その他の全ての IJF 主催の大会では、8 m × 8 m の試合場内と、場外は、少なくとも 3 m、特に隣接する試合場までは、最短で 4 m あるべきである。



2-4 開始線と選手の位置

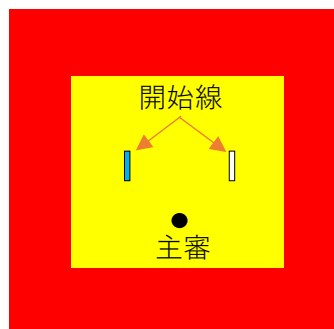
*IJF 主催の大会などでは、開始線を設けない。(全柔連主催の大会は開始線を設ける)

*主審から見て、右に白、左に青の選手が立って、試合を開始する。

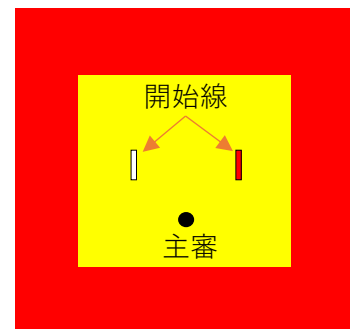


IJF 主催大会

*但し国内では、試合場内の中央から4m【国内では2間】離れた位置に、主審から見て右に赤テープ(幅10cm、長さ50cm)、左に白テープ(赤テープ同様)の開始線を設ける。従って、選手の位置も、現在のところ主審から見て、右が赤(赤紐を締める)、左が白(白紐を締める)の選手となる



全柔連主催国内大会



国内大会の場合

(青色柔道衣を導入する大会)の場合

2-5 その他必要な備品(詳細は別ページ)

*タイマー《得点板》、並びにストップウォッチ



*予備用のストップウォッチ (抑え込み用も含め2個)



* 国際試合や国内の代表的な試合では、パソコンと電光掲示板が連動している。



* IJF の主催する試合、並びに国内の代表的な試合でも、主審、副審の間でトランシーバーを用いて審判を行っている（写真はケアシステム）



二方向からのケアシステム



2-6 階級

2-6-1 男子		(当日計量)
60kg級	60kg以下	63.0kgまで
66kg級	60kgを超えて、66kgまで	69.3kgまで
73kg級	66kgを超えて、73kgまで	76.7kgまで
81kg級	73kgを超えて、81kgまで	85.1kgまで
90kg級	81kgを超えて、90kgまで	94.5kgまで
100kg級	90kgを超えて、100kgまで	105.0kgまで
100kg超級	100kgを超える	実施しない
2-6-2 女子		(当日計量)
48kg級	48kg以下	50.4kgまで
52kg級	48kgを超えて、52kgまで	54.6kgまで
57kg級	52kgを超えて、57kgまで	59.9kgまで
63kg級	57kgを超えて、63kgまで	66.2kgまで
70kg級	63kgを超えて、70kgまで	73.5kgまで
78kg級	70kgを超えて、78kgまで	81.9kgまで
78kg超級	78kgを超える	実施しない
2-6-3 15歳以上18歳未満の少年《カデ》		(当日計量)
55kg級	55kg以下	57.8kgまで
60kg級	55kgを超えて、60kgまで	63.0kgまで
66kg級	60kgを超えて、66kgまで	69.3kgまで
73kg級	66kgを超えて、73kgまで	76.7kgまで
81kg級	73kgを超えて、81kgまで	85.1kgまで
90kg級	81kgを超えて、90kgまで	94.5kgまで
90kg超級	90kgを超える	実施しない
2-6-4 15歳以上18歳未満の少女《カデ》		(当日計量)
44kg級	44kg以下	46.2kgまで
48kg級	44kgを超えて、48kgまで	50.4kgまで
52kg級	48kgを超えて、52kgまで	54.6kgまで
57kg級	52kgを超えて、57kgまで	59.9kgまで
63kg級	57kgを超えて、63kgまで	66.2kgまで
70kg級	63kgを超えて、70kgまで	73.5kgまで
70kg超級	70kgを超える	実施しない

2-7 計量についての決まり

- * シニア及びカデ、ジュニアの公式計量は、試合の前日に実施。
- * ランダムに選出した各階級2～3名の選手に対して、公式計量と同様な方法で、大会当日の朝、初戦の前に再計量を行う。
その時の体重が階級の公式体重上限より5%以上の場合は試合に出場できない。
(例 100 kg級→ 105 kgまで)
- * 公式計量は、小数第二位を切り捨てる
(例 60 kg級→ 60.07 kgは計量パス)。
- * 団体戦の計量は、大会前日に行う。
- * 計量の方法についての詳細は、P.25 参照。

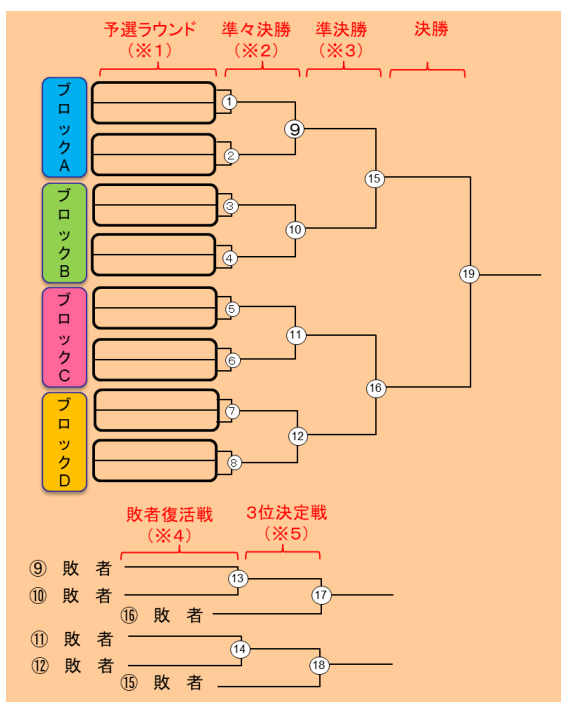
【デジタル表示の計量計を使用】



2-8 試合時間

男子	試合時間 4 分、ゴールデンスコア無制限
女子	
ジュニア・カデ	

2-9 試合のシステム《敗者復活戦》



* 敗者復活戦に進める権利を有する選手は、準決勝戦（セミファイナル）に駒を進めた選手【4名】に、準々決勝戦（クォーターファイナル）【ベスト8】で負けた選手【4名】となる。更に、準決勝戦（セミファイナル）で負けた選手は、逆山の敗者復活戦で勝った選手と、3位決定戦（ブロンズメダルマッチ）を行い、第3位を決定する。この3位決定戦（ブロンズメダルマッチ）に負けた選手は第五位、敗者復活戦（レペチャージ）で負けた選手は第七位となる。

- ※ 1 予選ラウンド（エルミネーション ラウンド）
- ※ 2 準々決勝（クォーターファイナル）
- ※ 3 準決勝（セミファイナル）
ただし敗者復活戦がある試合において敗者は3位決勝戦へ廻る。
- ※ 4 敗者復活戦（レペチャージ）
- ※ 5 3位決定戦（ブロンズメダルマッチ）

3. 試合運営の流れ

3-1 試合前の事前準備・準備会議等

【3-1-1 柔道競技団体（大会準備委員会・事務局）】

1) 大会準備委員会・事務局の設置	
2) 統括責任者の決定	
3) 業務を分担し、責任者を明確にする	
① 大会日程の決定・会場の決定・会場予約	
② 大会予算の決定	
③ 後援・協賛の依頼	
④ 関係市区町村団体への連絡	
⑤ 大会規模に応じた緊急事態対応マップの作成	
⑥ 警察・消防・病院への依頼と協議	
⑦ テレビ局・報道関係者への連絡と協力依頼	
⑧ 昼食・副賞業者選定と依頼	
⑨ 大会要項の作成【試合当日の係員業務決定】	
⑩ 大会要項の発送	
⑪ 大会プログラムの原案作成	

注意事項

- ① 重複業務や業務・責任の空白部分は作らない。
- ② 開催市町村団体などとの業務分担があれば、責任の所在・体制などは必ず事前の協議で明確にし、密に連携を図る。
- ③ 複数の担当者がある場合は、主・副担当者を決定しておく。
- ④ 予算執行や要望を市町村にあげた時のルートや了承を得るまでの日数などを事前に知っておく。
- ⑤ AED設置場所や管理責任者を必ず決めておくこと。更に、AEDなどの使い方についても熟知するとともに、緊急事態を想定してシミュレーションや訓練を惜しまないこと。

【3-1-2 競技役員の決定と委嘱】

① 大会委員長・副委員長の決定と委嘱	
② 総務系の決定と委嘱（大会事務局長が兼務可）	
③ 来賓・参与などの決定と招待状の発送	
④ 競技進行責任者・係【進行本部】の決定と委嘱	
⑤ 試合場統括系の決定と委嘱	
⑥ 記録系の決定と委嘱	
⑦ 時計系の決定と委嘱	
⑧ 掲示系の決定と委嘱	
⑨ 連絡系の決定と委嘱	
⑩ 選手系の決定と委嘱	
⑪ 会場警備系の決定と委嘱	
⑫ 救護系の決定と委嘱	
⑬ 放送系の決定と委嘱	
⑭ 渉外係（接待を含む）の決定と委嘱	
⑮ 式典系の決定と委嘱	
⑯ 審判系の決定と委嘱	
⑰ 練習会場系の決定と委嘱	
⑱ 抽選系の決定と委嘱	
⑲ 計量系の決定と委嘱	

注意事項

- ① 各系の責任者（審判ライセンス資格保有者）の決定と委嘱をできるだけ早めに行う。
- ② 大会運営事務局と係責任者を合わせた準備会議の開催・各系の業務の確認・徹底は必須（係業務内容はP.13から）。
- ③ 大会の規模に応じて、係責任者は重複も可能であるが、責任の空白が生じる可能性があるので注意。
- ④ 市町村団体やTV局・報道関係者の大会責任者についても、準備会議に参加要請を必ず行う。
- ⑤ タイムテーブル・進行台本の作成をこの会議までに！

資料1) 大会のタイムテーブル例

試合会場

2022年度選抜種別全日本柔道団体選考予備大会 通行表									
10月29日(土) 女子7階級				2022/10/21					
第1試合場		第2試合場		第3試合場		第4試合場		06:00	07:00
1	63kg級D 1回戦	1	48kg級B 1回戦	1	48kg級C 1回戦	1	48kg級D 1回戦	9:06	9:07
2	48kg級A 2回戦	2	57kg級B 1回戦	2	57kg級C 1回戦	2	57kg級D 1回戦	9:12	9:14
3		3	63kg級C 1回戦	3	63kg級B 1回戦	3	48kg級D 2回戦	9:18	9:21
4		4	48kg級B 2回戦	4	48kg級C 2回戦	4		9:24	9:28
5		5		5		5		9:30	9:35
6	52kg級D 2回戦	6		6		6		9:36	9:42
7		7		7		7	52kg級A 2回戦	9:42	9:49
8		8	52kg級C 2回戦	8	52kg級B 2回戦	8		9:48	9:56
9		9		9		9		9:54	10:03
10	57kg級A 2回戦	10		10		10		10:00	10:10
11		11		11		11	57kg級D 2回戦	10:06	10:17
12		12	57kg級B 2回戦	12	57kg級C 2回戦	12		10:12	10:24
13		13		13		13		10:18	10:31
14	63kg級D 2回戦	14		14		14		10:24	10:38
15		15		15		15	63kg級A 2回戦	10:30	10:45
16		16	63kg級C 2回戦	16	63kg級B 2回戦	16		10:36	10:52
17		17		17		17		10:42	10:59
18	70kg級A 1回戦	18		18		18		10:48	11:06
19		19		19		19	70kg級D 1回戦	10:54	11:13
20		20	70kg級B 1回戦	20	70kg級C 1回戦	20		11:00	11:20
21	78kg級D 1回戦	21		21		21		11:06	11:27
22		22		22		22		11:12	11:34
23		23	78kg級C 1回戦	23	78kg級B 1回戦	23	78kg級A 1回戦	11:18	11:41
24		24		24		24		11:24	11:48
25	78kg超級A 1回戦	25		25		25		11:30	11:55
26		26		26		26		11:36	12:02
27	48kg級A 3回戦	27	78kg超級B 1回戦	27	78kg超級C 1回戦	27	78kg超級D 1回戦	11:42	12:09
28		28		28		28		11:48	12:16
29	52kg級D 3回戦	29	48kg級B 3回戦	29	48kg級C 3回戦	29		11:54	12:23
30		30		30		30	48kg級D 3回戦	12:00	12:30
31	57kg級A 3回戦	31	52kg級C 3回戦	31	52kg級B 3回戦	31		12:06	12:37
32		32		32		32	52kg級A 3回戦	12:12	12:44
33	63kg級D 3回戦	33	57kg級B 3回戦	33	57kg級C 3回戦	33		12:18	12:51
34		34		34		34	57kg級D 3回戦	12:24	12:58
35	70kg級A 2回戦	35	63kg級C 3回戦	35	63kg級B 3回戦	35		12:30	13:05
36		36		36		36	63kg級A 3回戦	12:36	13:12
37	78kg級D 2回戦	37	70kg級B 2回戦	37	70kg級C 2回戦	37		12:42	13:19
38		38		38		38	70kg級D 2回戦	12:48	13:26
39	78kg超級A 2回戦	39	78kg超級C 2回戦	39	78kg超級B 2回戦	39		12:54	13:33
40		40		40		40	78kg超級A 2回戦	13:00	13:40
41	48kg級A 4回戦	41	78kg超級B 2回戦	41	78kg超級C 2回戦	41		13:06	13:47
42	52kg級D 4回戦	42		42		42	78kg超級D 2回戦	13:12	13:54
43	57kg級A 4回戦	43	48kg級B 4回戦	43	48kg級C 4回戦	43		13:18	14:01
44	63kg級D 4回戦	44	52kg級C 4回戦	44	52kg級B 4回戦	44	48kg級D 4回戦	13:24	14:08
45	70kg級A 3回戦	45	57kg級B 4回戦	45	57kg級C 4回戦	45	52kg級A 4回戦	13:30	14:15
46	78kg級D 3回戦	46	63kg級C 4回戦	46	63kg級B 4回戦	46	57kg級D 4回戦	13:36	14:22
47	78kg超級A 3回戦	47	70kg級B 3回戦	47	70kg級C 3回戦	47	63kg級A 4回戦	13:42	14:29
		48	78kg超級C 3回戦	48	78kg超級B 3回戦	48	70kg級D 3回戦	13:48	14:36
		49	78kg超級B 3回戦	49	78kg超級C 3回戦	49	78kg級A 3回戦	13:54	14:43
						50	78kg超級D 3回戦	14:00	14:50
調整時間 10min								14:00	15:00
48	48kg級 敗者復活戦A	50	48kg級 準決勝戦A	50	48kg級 準決勝戦B	51	48kg級 敗者復活戦B	14:16	15:07
49	52kg級 敗者復活戦A	51	52kg級 準決勝戦A	51	52kg級 準決勝戦B	52	52kg級 敗者復活戦B	14:22	15:14
50	57kg級 敗者復活戦A	52	57kg級 準決勝戦A	52	57kg級 準決勝戦B	53	57kg級 敗者復活戦B	14:28	15:21
51	63kg級 敗者復活戦A	53	63kg級 準決勝戦A	53	63kg級 準決勝戦B	54	63kg級 敗者復活戦B	14:34	15:28
52	70kg級 敗者復活戦A	54	70kg級 準決勝戦A	54	70kg級 準決勝戦B	55	70kg級 敗者復活戦B	14:40	15:35
53	78kg級 敗者復活戦A	55	78kg級 準決勝戦A	55	78kg級 準決勝戦B	56	78kg級 敗者復活戦B	14:46	15:42
54	78kg超級 敗者復活戦A	56	78kg超級 準決勝戦A	56	78kg超級 準決勝戦B	57	78kg超級 敗者復活戦B	14:52	15:49
調整時間 10min コマツ新人賞								15:02	15:59
55	48kg級 三位決定戦A	57	48kg級 三位決定戦B	57	52kg級 三位決定戦A	58	52kg級 三位決定戦B	15:08	16:06
56	57kg級 三位決定戦A	58	57kg級 三位決定戦B	58	63kg級 三位決定戦A	59	63kg級 三位決定戦B	15:14	16:13
57	70kg級 三位決定戦A	59	70kg級 三位決定戦B	59	78kg級 三位決定戦A	60	78kg級 三位決定戦B	15:20	16:20
		60	78kg超級 三位決定戦A	60	78kg超級 三位決定戦B			15:26	16:27
決勝戦開始 17:00									
表彰式・インタビュー				61	48kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				62	52kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				63	57kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				64	63kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				65	70kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				66	78kg級 決勝戦				
表彰式・インタビュー				67	78kg超級 決勝戦				
表彰式・インタビュー									

予選ラウンド

インターバル

(式典関係を行う場合がある)

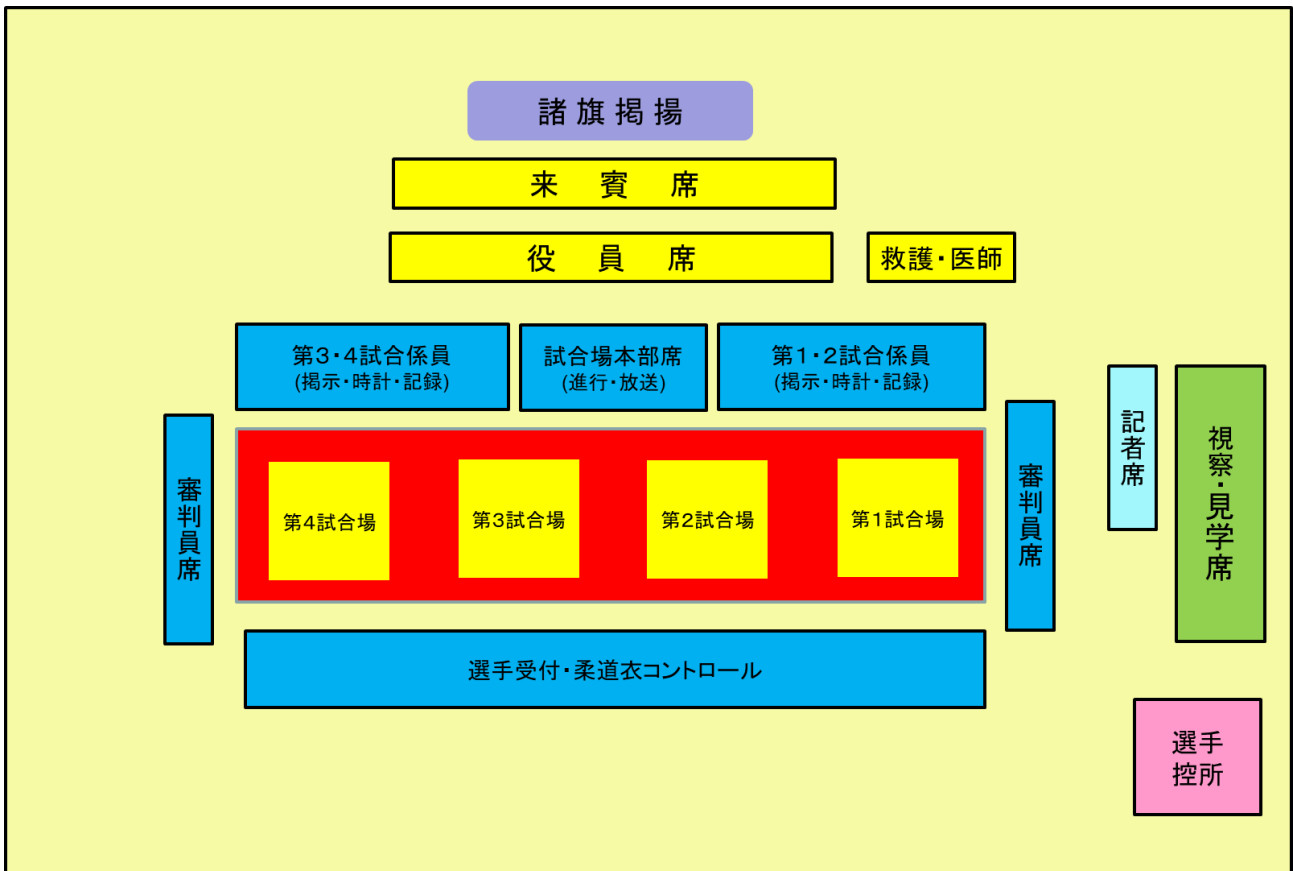
決勝ラウンド

敗者復活戦 (Repechage)
準決勝戦 (Semi Final)
三位決定戦 (Bronze)
決勝戦 (Final)

資料2) 大会進行台本 (一部抜粋)

令和 年全日本柔道選手権大会 進行台本			
Time	Title	担当	内容
9:25	整列開始		<p>9時30分より開会式を行います。 役員の皆様は係員の指示に従いご整列ください。</p> <p>マイクを出しておく 畳上整列対象者</p>
9:30			<p>準備完了 ただいまより、開会式を行います。 全照明 選手入場 ※選手紹介→太鼓「●」→選手紹介・・・の順番</p>
10:25	一回戦開始	進行・選手係	<p>選手・審判員の準備が整ったことを確認</p> <p>ただいまより、一回戦を開始します。 一回戦第一試合 赤 ●●地区代表 ■■ ■■ ▲段 白 ●●地区代表 ■■ ■■ ▲段 主審 ●●審判員、副審 ●●審判員、おなじく ●●審判員</p> <p>進行のインカムで選手・審判員の入場タイミングをサポート 勝敗のアナウンスは別紙参照</p> <p>一回戦終了</p> <p>このあと●●時●●分より二回戦を行います。 選手・審判員・係員は準備を行ってください。</p>
		選手係・審判員係 放送係	
	二回戦開始 1300: 放送開始	進行・選手係	<p>選手・審判員の準備が整ったことを確認</p> <p>ただいまより、二回戦を開始します。 二回戦第一試合 赤 ●●地区代表 ■■ ■■ ▲段 白 ●●地区代表 ■■ ■■ ▲段 主審 ●●審判員、副審 ●●審判員、おなじく ●●審判員</p> <p>二回戦終了</p> <p>このあと●●時●●分より三回戦を行います。 選手・審判員・係員は準備を行ってください。</p>
		進行・選手係	
	放送終了	式典係	<p>引き続き、表彰式を行います。 プレゼンターならびに優勝から第5位までに入賞した選手は係員の指示に従い整列をお願いします。</p> <p>プレゼンター・選手整列 / 賞品陳列</p> <p>畳上整列対象者</p>
	閉会式開始 成績発表		<p>ただいまより閉会式を行います。</p> <p>成績発表ならびに表彰。</p> <p>優 勝 ●● ●●選手 第2位 ●● ●●選手 第3位 ●● ●●選手 ●● ●●選手 第5位 ●● ●●選手 ●● ●●選手 ●● ●●選手 ●● ●●選手</p>
	優勝者		<p>優勝した●●選手は中央へお進みください。</p> <p>優勝者、中央へ移動</p> <p>優勝者へ、より賞状・天皇杯・嘉納師範牌・カップが授与されます。</p>

資料3) 試合会場図 (例)



試合場係員配置



大会の様子 (係員の配置)



【3-1-3 競技役員の業務内容】

総務部

- * 大会に必要な備品・消耗品の用意・補充。
- * 大会立て看板、横断幕、国旗、アドボードなどの用意。
- * IDカードの用意→各係員への配布も含む。
- * 報道関係者へのビブス・IDカードの用意。
- * 副賞【メダルなど】、賞状の用意。
- * 当日の係員の昼食の用意（外部業者などへの対応）。
- * 来賓席・係員席・審判員席・役員席の設置と名札の作成と机への適切な配置。
- * 大会当日に必要な現金の管理、支払など。
- * その他当日の総務的緊急事項への対応（警察・消防への連絡も含む）。
- * 感染症対策など、専門委員と打合せし、対策について準備する。



IDカードの作成・配布確認



報道関係者へのビブスの用意



立て看板の用意



試合横断幕

競技進行本部

- * 競技全体の進行状況を把握し、タイムテーブルに則って進行できるように対応する（大会の指揮）。
- * 放送係、TV局の責任者などと連携を図り、不必要な「間」ができないように円滑な進行に努め、随時放送を活用できるように心がける。
- * 各試合場統括係とトランシーバーなどで連携を取り、常に勝者を把握して、関係部署（各試合場、本部記録・掲示係・選手係など）に情報を共有する。
- * 大会によっては、敗者復活戦の組合せの作成、試合順序表（コンテストオーダー）の作成をする。
- * あらゆる質問が集中するので、大会全般に精通していることが必要である（特に競技進行責任者・副責任者の役割は重要）。



競技進行本部（放送係、競技進行係）

資料5) 審判員リスト

No	役職	氏名	フリガナ	所属
1	審判長	●● ●●	●● ●●	埼玉
2	審判委員	●● ●●	●● ●●	三重
3	審判員	●● ●●	●● ●●	北海道
4	審判員	●● ●●	●● ●●	秋田
5	審判員	●● ●●	●● ●●	埼玉
6	審判員	●● ●●	●● ●●	神奈川
7	審判員	●● ●●	●● ●●	神奈川
8	審判員	●● ●●	●● ●●	東京
9	審判員	●● ●●	●● ●●	東京
10	審判員	●● ●●	●● ●●	東京
11	審判員	●● ●●	●● ●●	東京
12	審判員	●● ●●	●● ●●	東京
13	審判員	●● ●●	●● ●●	愛知
14	審判員	●● ●●	●● ●●	大阪
15	審判員	●● ●●	●● ●●	大阪
16	審判員	●● ●●	●● ●●	兵庫
17	審判員	●● ●●	●● ●●	香川

※ 一試合場につき 8~9 名の審判員を配置する。

※ 通し番号・氏名・所属・出身校など、審判割り振り作成に必要な情報を一覧に記載する。

資料6) 審判員割り振り

2023年全日本選抜柔道体重別選手権大会 試合進行表 1日 第2試合場										
時間	No.	階級	回戦	色	選手名	現所属	出身校	主審	副審	副審
10:00	1	60kg	1回戦	白						
10:07			1回戦	青						
10:07	2	60kg	1回戦	白						
10:14			1回戦	青						
10:14	3	48kg	1回戦	白						
10:21			1回戦	青						
10:21	4	48kg	1回戦	白						
10:28			1回戦	青						
10:28	5	66kg	1回戦	白						
10:35			1回戦	青						
10:35	6	66kg	1回戦	白						
10:42			1回戦	青						
10:42	7	52kg	1回戦	白						
10:49			1回戦	青						
10:49	8	52kg	1回戦	白						
10:56			1回戦	青						
10:56	9	73kg	1回戦	白						
11:03			1回戦	青						
11:03	10	73kg	1回戦	白						
11:10			1回戦	青						
11:10	11	57kg	1回戦	白						
11:17			1回戦	青						
11:17	12	57kg	1回戦	白						
11:24			1回戦	青						
11:24	13	81kg	1回戦	白						
11:31			1回戦	青						
11:31	14	81kg	1回戦	白						
11:38			1回戦	青						
調整/豊消毒 (10分)										
11:48	15	60kg	準決勝	白						
11:55			準決勝	青						
11:55	16	48kg	準決勝	白						
12:02			準決勝	青						
12:02	17	66kg	準決勝	白						
12:09			準決勝	青						
12:09	18	52kg	準決勝	白						
12:16			準決勝	青						
12:16	19	73kg	準決勝	白						
12:23			準決勝	青						
12:23	20	57kg	準決勝	白						
12:30			準決勝	青						
12:30	21	81kg	準決勝	白						
12:37			準決勝	青						
調整/豊消毒/広告看板等移動※豊転換は行わない (26分)										
13:03	22	60kg	決勝	白						
13:15			決勝	青						
13:15	23	48kg	決勝	白						
13:27			決勝	青						
13:27	24	66kg	決勝	白						
13:39			決勝	青						
13:39	25	52kg	決勝	白						
13:51			決勝	青						
13:51	26	73kg	決勝	白						
14:03			決勝	青						
14:03	27	57kg	決勝	白						
14:15			決勝	青						
14:15	28	81kg	決勝	白						
14:27			決勝	青						

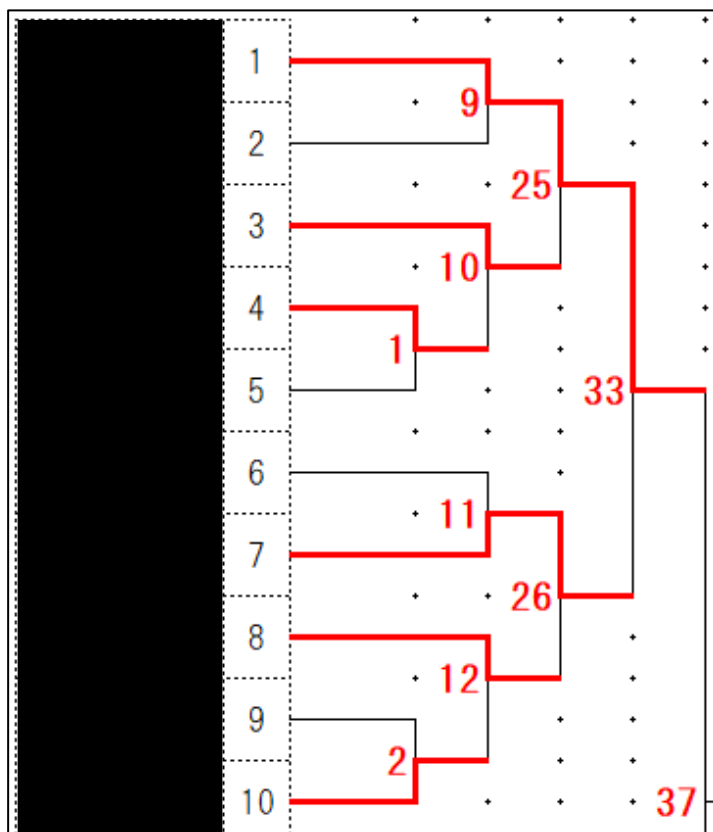
※ 試合進行に沿って審判員の割り振りを作成する。(選手・審判員の出身校や所属を被せない)

※ 作成した審判割り振りを審判長と確認し、確認でき次第、各試合場審判員へ共有する

記録係

- * 試合内容（試合者氏名・所属、審判氏名、スコアや罰則の内容と経過）を試合記録用紙に記入し、PC 記録係に伝達する。
- * 決まり技名や罰則の種類のリストを用意するとともに、試合記録用紙の記入に精通する。技名称には「俗称」は使用しないこと。
- * 決まり技の判断が難しい場合は、副審または審判委員（ジュリー）に確認する。
- * 試合記録用紙を記入後、記録係責任者（試合場統括係等）の確認を受ける。
- * PC 記録係は記録係と連携し、試合内容・経過、勝敗などの試合結果を用意された PC に入力していく。
- * 該当試合場のトーナメント勝ち上がり表やリーグ表についてもミスなく記入する。
- * 本部記録係は、各会場の記録を集約し、試合記録用紙と PC 記録の内容に相違がないかを確認し、公式記録を作成する。
- * 本部記録係で集約し確認した試合記録用紙は、連絡係に手渡し、コピーさせた後、報道関係者も含め配布させる。（記録システム等使用の場合は不要）

資料 7) 会場記録係の勝ち上がり表記載例



時計係

- * 〈時間の計測〉 試合時間、抑え込み時間を計測する。
- * 〈ストップウォッチの使用〉 計測をおこなう場合は、操作や機器の故障等のトラブルに備えて、必ずストップウォッチも同時に使用し計測をおこなうこと。
- * 〈各種の旗の使用/タイマーのトラブル時のみ〉
 - ①タイマー故障時/「黄色旗 (=「待て」中)」「緑色旗 (=「抑え込み」時間計測中/IJF ルール)」を、計測と一緒に使用する。
 - ②試合中のタイマー計測不能/主審の指示のもと、計測をおこなっていない状況を示すため「黄色旗」を使用する。
- ※ それぞれの状況下においては、時計係は旗を高く掲げること。
- * 〈試合時間・抑え込み時間以外の計測〉 次の場合は、試合場統括係の指示に従い、正しく計測を行うこと。
 - ① 試合該当選手の何れか一方が試合場内に上がり他方が試合場に来ない場合は、会場のタイマーあるいはストップウォッチを使用し、[30 秒] の計測を行う。この間に、試合場に入場できない選手は、試合を行うことができない。(大会によっては従来通りの方法で取り扱うなど、大会において申し合わせる。)
 - ② その他 (負傷による長時間の治療時間など)、審判・競技統括・主催者などで、時間の計測を指示された場合。
- * 〈試合時間終了と同時の技の判断〉 終了の合図と同時に技が施された場面などは、主審が時計係に、時間の内に施された技か否かを確認する場合がある。最後まで試合の流れ・結果を十分に観察・確認すること。
- * タイマーの操作、スコア、ペナルティの加除は、発声などで確認を行い、ミスの無いように正確に行う。
- * 緊張感の中、集中力と慎重さを必要とする業務なので、係員の疲労防止のために、役割の分担や交代要員の準備は配慮すること。

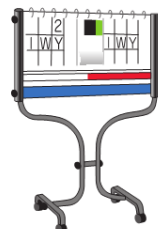
掲示係

- * 得点掲示は、タイマーがある場合は時計係が操作する。タイマーがない場合は得点板を使用して表示する。
- * どちらの得点なのか判断が難しい場合には、副審または審判委員(ジュリー)に確認する。
- * 対戦掲示は、試合結果を確認して間違いのないように表示する。試合場から離れている掲示の場合は、トランシーバーを活用し掲示の漏れがないように心掛ける。
- * 掲示の変更は主審の指示で行う。また、止む無く確認の必要性が生じた場合は、副審、あるいは審判委員(ジュリー)に申し出をし、試合を中断した後に行う。

試合を注視すること



スタンド式得点掲示板



試合場の掲示 (例: 団体戦)

第一試合場	三回戦	第五試合	赤	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
				A中学校	藤 太郎	山本 太郎	山本 太郎	山本 太郎
白	B中学校	深堂 雄	山本 太郎	山本 太郎	山本 太郎	山本 太郎	山本 太郎	山本 太郎
		〇	〇	〇	〇	〇		

連絡係

- * 試合場統括係が確認のサインをした記録用紙を本部記録に届けるとともに、必要各部署へもコピー後配布する。
- * 勝ち上がった（選手・チーム）、あるいは審判員を反映させたコンテストオーダー（試合順序表）などを、競技進行本部（あるいは作成部署）から受け取り、コピーした後、必要各部署へ配布する。
- * その他、試合場統括係、競技進行本部が必要な場合にその指示に従う。

選手係

- * 大会の規模によっては、ID カードと赤白紐などを交換して、選手、コーチの試合場への入場をコントロールする。あるいは、試合場までの導線を誘導する。
- * 大会の規模によっては、柔道衣測定器を用いて選手の柔道衣を測定する。
- * コンテストオーダーやトーナメント表に従い、選手の所属、氏名、階級などを確認する。
- * 柔道衣の測定を行う場合は、柔道衣内の異物(特に ID カードや電子機器)や、サポーター(硬い素材ではないか)等に注意する。また、疑義が生じた場合の対応(規格外等)は、事前に打ち合わせをしておく。なお、試合を円滑に進めるためには重要な業務であるため、厳密に行うことを徹底する。
- * 試合前の棄権申告もあり得るため、対応について事前に打ち合わせをしておく。

会場警備係

- * 大会の規模によっては、ID カードなどによって試合会場への入場者をコントロールする。
- * その他、大会会場内の整理・警備全般を行う。



審判の要請に即座に応える

救護係

- * 試合中に審判員から要請された場合は、止血などの処置や診察をする（医師などの医療処置の資格を有した者）。
- * 試合場係員席の審判員から認識し易い位置に救護係は配置される。
- * 柔道試合審判規程に認められた診察や治療行為（選手が頭部を強打した場合の処置など）以外を施した場合は、相手選手に棄権勝ちが与えられるので注意する。
- * 選手が頭部を強打した試合の場合は、審判員に試合続行の可否を尋ねられるので、医学的見地から判断し、その旨を審判員に報告する。



救護席(赤いビブス着用)

放送係

- * 会場内のすべての人々に、試合進行から、式典に至るまで、アナウンスをとおして正確に伝達・案内する。
- * 放送原稿を作成する。
 - ①式典係と連携し、開閉会式・表彰式関係用。
 - ②選手呼び出し・試合結果通信用。
 - ③競技進行係と連携し、試合進行用。
 - ④緊急事態対応によりリスクマネジメント用（地震など）。
- * 競技中は、常に競技進行係と連携し、その要求に対して、臨機応変、スピーディーな対応を心掛ける。
- * できれば柔道に精通している者が望ましいが、そうでない場合は、至近距離に競技進行責任者や、試合場統括係を配置すること。
- * 人名や階級、所属や国際大会の場合は国籍などの選手の基本的な情報を確認し、間違いのないように留意する。

アナウンス内容例

試合開始前・ファイナルブロック前	国際柔道連盟・全日本柔道連盟・すべての協賛会社を代表して、グランドスラム東京2013にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。
試合開始前	この大会は、オリンピックメダリスト、世界選手権メダリスト等がここ東京に集結し、世界一流の熱戦を繰り広げます。このあと始まる試合にご期待ください。
第1回戦開始前	大会1日目は、○○kg級、○○kg級・・・の試合が10:00より行われます。今しばらくお待ちください。
決勝戦呼び出し	白 世界ランク○位
3位決定戦以降の呼び出し原稿(選手の実績が優勝の時)	世界選手権チャンピオン・オリンピックチャンピオン・ヨーロッパチャンピオン 等
選手の実績が2位や3位の時	銀メダリスト 銅メダリスト 選手名○○○○ 国名○○○○○○○
結果放送	白or青 ○○選手の○○○○勝ち 決まり技○○ 試合時間00:00
適時	国際柔道連盟では、ホームページを通じて、グランドスラムをはじめとする情報を発信しています。どうぞ皆様、ijf.comにアクセスしてください。
ファイナルブロック前	大会○日目、日本の選手が○○個の金メダルを獲得いたしました。これから始まるファイナルブロックにご期待ください。
予選ラウンド終了付近	このあとの試合進行についてお知らせいたします。00:00からイベント00:00から○○形の演技。そして00:00から3位決定戦を行います。
カウントダウン	試合開始、5分前です。
ファイナルブロック前	ファイナルブロックには、日本選手が○○人出場いたします。ご声援をお願いいたします。
敗者復活戦後	○○選手、3位決定戦に進出です。
セミファイナル後	○○選手、決勝戦に進出です。
決勝戦の後	決勝戦を戦った選手に、拍手をお送りください。
終了後	国際柔道連盟・全日本柔道連盟・すべての協賛会社を代表して、グランドスラム東京2013にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。明日は、○○kg級・・・の試合が行われます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

渉外係

- * 来賓の案内・接待をスムーズに行う（大会準備委員会で関係団体・組織との会議や折衝に当たった者が責任者に相応しい）。
- * 総務係と連携し、来賓の方々に失礼がないように心配りをする（名前漏れや名札の漏れがないか等）。
- * 予定にない来賓者の対応や、来賓の方々の送迎などにも場合によっては対応する。
- * 来賓の昼食対応やお茶出しなどについても気を配る。

式典係

- * 開閉会式、表彰式、大会中のイベントなどをスムーズに運営する。
- * それぞれに必要な物品の確認を行う（副賞、賞状、国旗、国歌など）。
- * 競技進行係、放送係と綿密な打ち合わせ、連携を図り式典に滞りがないように務める。
- * 表彰式などの選手誘導、表彰役員・来賓のアテンド（案内や誘導）など、間違いが発生しないように、特に表彰役員・来賓のチェック表や式典進行台本を作成し、表彰前に直接本人に確認を促す。
- * 進行台本、放送台本、式典進行台本が一致しているか、事前に確認をする（放送台本上の表彰者氏名など）。



表彰式の様子

審判係

- * 審判員の確保、試合場への誘導などを、試合場統括係と連携し滞りのないように務める。
- * 審判員の顔と名前、審判員番号を、審判リストを用いて必ず確認する（外国人審判員は特に）。
- * 試合途中の審判員への対応全般を行う。
- * 審判員待機席のトランシーバーの調整などについても、総務係と連携を図り確実にを行う（チャンネルなど）。

国際試合審判員



審判員待機席で試合を待つ審判員



練習会場係

- * 練習会場が試合会場から離れている場合は、特にトランシーバーなどを利用し、試合場統括係や選手係と連携を図りながら選手確保に務める。
- * 試合会場に掲示するトーナメント表への結果掲示については、特に滞りのないようにする。



試合進行モニターがある場合も試合場統括・選手係と連絡を密に！

抽選係

- * 試合抽選会議に混乱がないように、選手名、所属の確認、登録をするとともに、抽選時の進行を務める。
- * シード条件の確認とシード選手の確認をし、間違いのないようにする。
- * コンピュータ抽選の場合、あるいはそうでない場合でも必ずリハーサルを行い、問題がないかを入念にチェックする。



抽選会議
(2011 世界 Jr 柔道選手権 ケープタウン)



【大会毎に抽選の取り決めがある場合は注意】

計量係

- * 選手の体重を公平・厳正に測定し記録することで、試合の公平性を維持する。(P.7、2-7・計量の決まりを参照)
- * 公式計量にて選手は一度しか体重計に乗ることができない。(指示のない状況で勝手に降りるなどの行為は失格となる場合もある) 従って、計量リストを基に厳密に測定する。
- * 体重計は、デジタル表示のものとする。(正確な数値を測るため、表示固定できるものが望ましい)
- * 非公式計量と公式計量を同一の体重計で行う。
- * 選手と同性の係員を配置すること。
- * チェッカー(※1)とコントローラー(※2)の役割を二分し、スムーズな計量運営に努める。
- * 体重計の設置場所は、固い床、又は厚みのある板の上に乗せる。更に、正確に測定ができるかを確認する。
- * 測定時には、小数点第2位は切り捨てる(表示にはテープ等で目かくしをする)。
- * 記録用紙には、小数点第1位まで記入する。
- * 公式計量時の選手の服装は、下着または裸とする。
- * 計量に混乱を来さないように、選手の誘導、計量の諸注意・説明の徹底を円滑に行う。

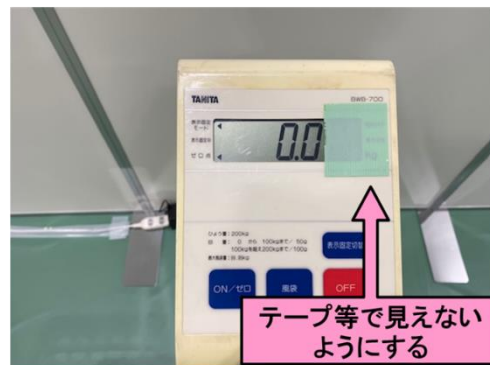
※1 チェッカー⇒ 選手確認・体重読み上げ・記録担当者

※2 コントローラー⇒ 選手導線の確保と体重測定タイミング指示者

計量の様子



小数第2位まで計測できること



計量機材のレイアウト(例)



階級ごとのパーテーションレイアウト(例)



資料9) 計量名簿

0000年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 計量用紙

60kg級

	氏名	所属・年	10/30 前日計量	10/31 当日計量	署名
1	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
2	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
3	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
4	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
5	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
6	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
7	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
8	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
9	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
10	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
11	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
12	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
13	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
14	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
15	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
16	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
17	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
18	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	
19	●● ●●	◎◎◎◎◎	kg	kg	

63.0kg

計量係署名

【3-1-4 試合場・試合用具に関する準備】

ア) 畳(P.3、2-3 試合場を参照)

① 「試合場の大きさ」の規程に合っているか	
② 隣接試合場までの間は、3m以上確保されているか (日本の畳サイズであれば、最低2間・訳3.7m)	
③ 場外部分も、最低2間・訳3.7m用意確保されているか	
④ 畳からタイマー、各試合場の係員席まで1.5m~2mの距離が確保されているか	
⑤ 報道関係のスペースを試合運営に支障のないように確保してあるか(各試合場のタイマー・係員席・審判委員(ジュリー)席・救護席の前には、報道関係者用のスペースは設けない)	
⑥ 畳の端から報道関係者までの距離は1mあるか	

イ) 試合用タイマー(P.4、2-5 その他必要な備品を参照)

① 試合時間・抑え込み時間・技ポイント表示・GS表示などの機能を有する機器の用意ができているか	
② 各試合場で、異なるブザー音になっているか	
③ 操作リハーサルを済ませているか	

ウ) 各試合場に用意する物品(時計関係)

① 筆記用具・試合記録用紙など	
② 延長戦表示：【GS】マーク(2個・対面にも)	
③ 試合番号表示：1~最終試合数までの表示札(1個)	
④ ストップウォッチ：試合時間計測用(1個)	
⑤ ストップウォッチ：抑え込み時間計測用(1個)	
以下、タイマー故障・トラブル時に備える	
⑥ 各種信号旗：黄色旗「待て表示用」(1本)	
⑦ 各種信号旗：青色旗「抑え込み表示用【講道館柔道審判規定】」(1本)	
⑧ 各種信号旗：黄色旗「抑え込み表示用【IJFルール用】」(1本)	
⑨ 予備の試合用タイマー：故障・トラブルに備える	
⑩ 予備の得点板掲示：タイマーの故障に備える	



エ) 各試合場に用意する物品(選手関係)

① 赤白紐：赤（10本）、白（10本）	
② 柔道衣測定器（1個）	
③ 代表戦試合決定用具：くじ引き抽選用具	
④ 筆記用具・記入用紙など	
⑤ IDカードや選手の携行品を預かるためのケース	

オ) 審判員関係

① 副審用椅子（三審制）：2脚	
② 判定用旗（講道館柔道試合審判規定運用時・その他）	
③ 副審席（2014年度 IJF審判ルール適用試合）	
④ トランシーバー	
⑤ 審判員割り振り	

カ) 救護関係

① 救護席の設置（救護マークも含めて）	
② AEDの設置場所の確認	
③ ストレッチャー、車椅子、スパインボード	
④ テーピングテープを含む救急箱（大会運営側）	
⑤ 緊急対応マップ	

キ) 対戦表示関係

① 各種別の参加チームの「選手名表示板」	
② 「選手変更」の確認と「選手名表示板」の訂正	

ク) 練習会場関係

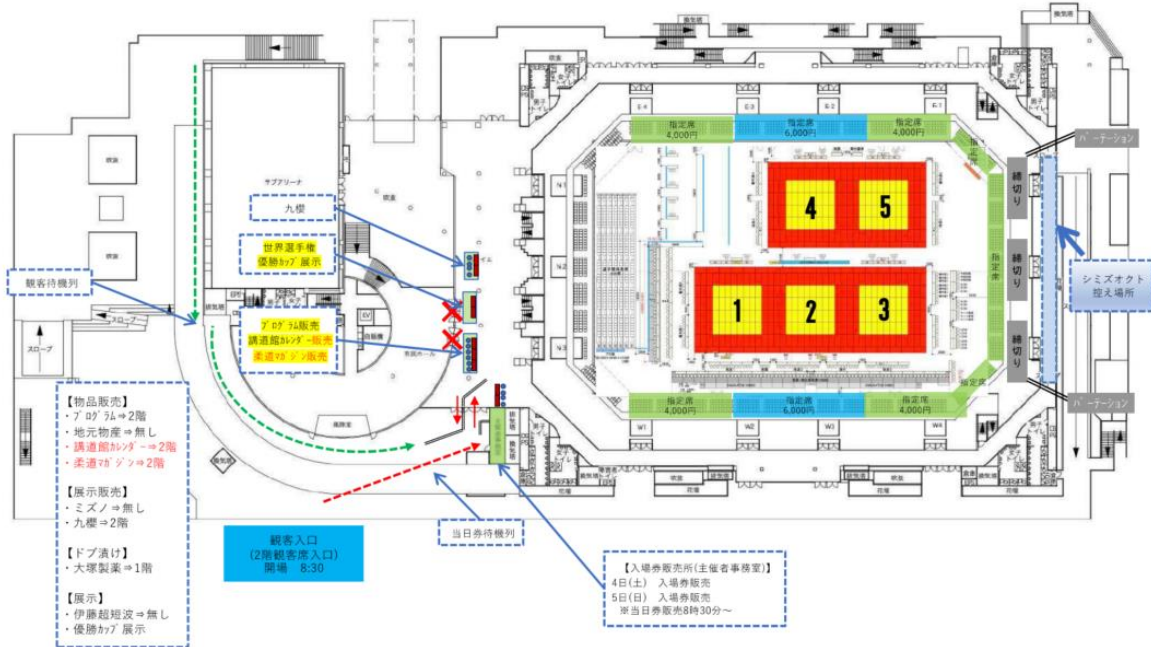
① 練習会場受付簿	
② 試合場統括係・選手係との連絡手段用トランシーバー	
③ 試合確認用勝ち上がり表	
④ 試合確認用モニター	

ケ) その他

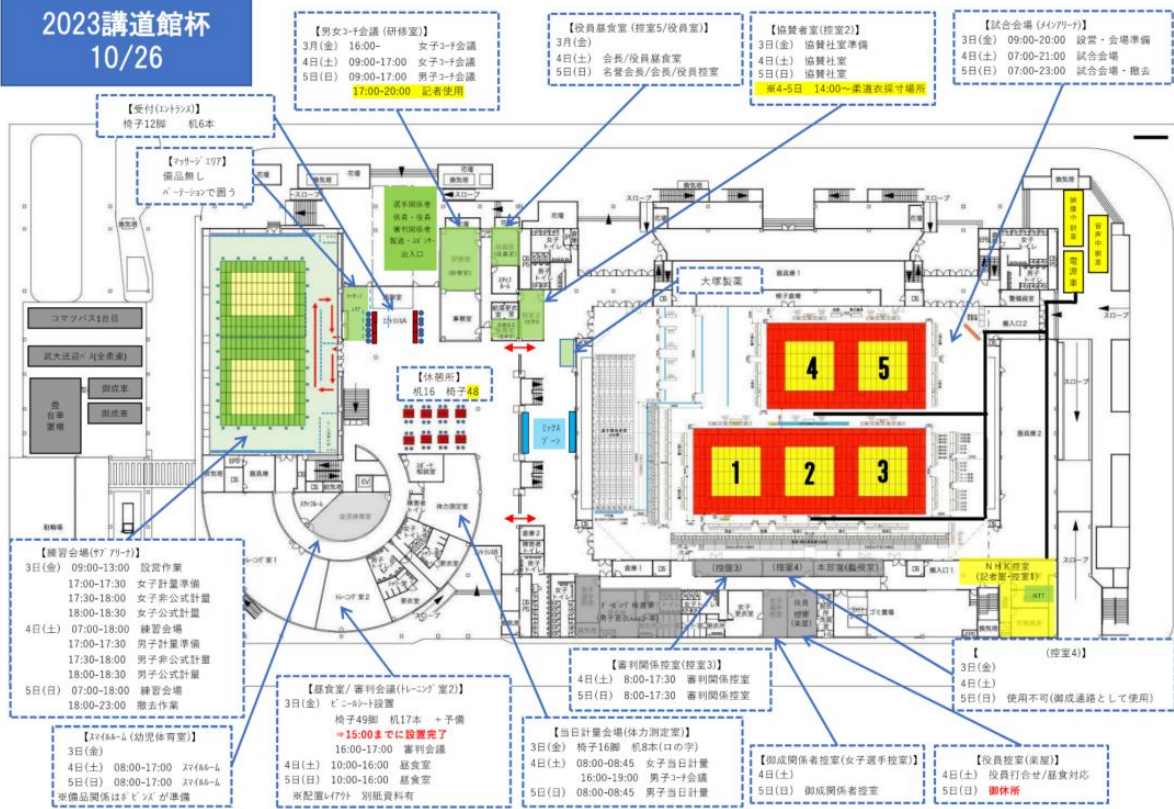
① ケアシステム（PC・タブレット）	
--------------------	--

資料 10) 大会会場配置一例・限られたスペースの有効活用

2023講道館杯
10/26



2023講道館杯
10/26



3-2 リハーサル

必ず本番とおりのリハーサルを入念に行う。そして問題を見出した時には、その日のうちに解決しておくことが重要。特に、緊急事態対応は、しっかりとした打合せとリハーサルを補助員とともにすること。

本番同様の配置でリハーサルを行う



入念なリハーサルが成功を招く



4. 試合を終えて

大会が終了しても大会運営は終わりではない。以下に掲げる事項も確認し、有終の美を飾ろう！

ア) 会場の撤収・撤収確認

① レンタル用品を業者へ返却できたか	
② 大会主催者購入品、備品などの数や保管仕分けができたか（リストを使って）	
③ 会場の畳の撤収、会場から貸与した椅子・机・その他の備品の確認ができたか	
④ 会場の清掃、控室・トイレなどの整理・整頓、並びに破壊場所はないかなどの施設点検が済んだか	
⑤ ゴミの仕分けやゴミの収集業者への引き渡しが済んだか	
⑥ 国民スポーツ大会などの場合は、後催都道府県への機材譲渡の準備を怠らないこと（後催担当者と事前に打ち合わせを済ませておくこと）	

イ) 競技終了における報告業務

① 国民スポーツ大会などについては、所定の様式にて日本スポーツ協会・各都道府県体育(スポーツ)協会へ報告書を提出したか	
② 後援・共催関係団体、消防や警察、協力依頼病院等への終了報告や挨拶を书面、あるいは直接出向いて済ませたか	

ウ) 大会反省会の開催と大会資料(決算も含め)の整備

① 大会係員の反省会を開催し、反省事項を整理できたか	
② プロぐたむ、業務マニュアル、大会運営スケジュール、役員・係員依頼文書、その他関係書類を整理できたか	
③ 大会開催当日資料(各シート、公式記録等)の整理、記録写真などの整理ができたか	
④ 収支決算書の整理ができたか	

2023-12-15 現在

「大会運営ガイドブック2023 ～よくわかる大会運営～」

2023年12月 監修者 執筆者一覧

【全日本柔道連盟大会事業委員会】

委員長 岡泉 茂

副委員長 小池 雅彦

” 山岸 裕二

” 吉田 敏男

委員 秋山日向子 石山 隆英 岩田 千絵
福地賢志郎 松岡 圭一

特別委員 井上 喜一 岡田 龍司 小坂 良行
鈴木 英雄 高橋 靖信 田中 寿人
福田 隆文 前田 城治 村田 豊

大会運営ガイドブック 2023～よくわかる大会運営～

2014年3月31日 第一版発行

2023年12月15日 第二版発行

発行：公益財団法人 全日本柔道連盟

〒112-0003

東京都文京区春日 1-16-30（講道館内）

【TEL】03-3818-4199

【FAX】03-3812-3995